



南雲和夫

ビジョンを戦略として機能強化を

今後の行政運営は財源の確保と適正な収支バランスの舵取りと「選択と集中」の精度が一段と求められており、町の特性からも内外の活力を呼び込む施策や、既存の資源、人材（人財）の活用を図り、ビジョンを「戦略」として捉えて機能強化していくことが重要であります。

グローバル化社会が進む中において、「ふるさと納税」などめまぐるしく変化する政治や社会情勢に町としてどう準備し、観光立町の果実として何がもたらせられるのか、その果実を生み出すための体制をどう考え、どう行動を起こしていくかが問われております。

一般質問

質問
機能強化を図る観点から重要プロジェクトチームの編成や町長直轄の課を新設する考えはないか。

町長答弁

行政改革検討委員、自立プラン策定委員、総合計画策定委員等はその一例であります。重要施策や局面においては実務を担当している中堅職員を中心にプロジェクトチームを設置し対応してきております。また町民満足プロジェクトや政策形成実践プロジェクトなどを通じ職員自らがアクションを起こし根付き始めてきたところであり、引き続き能力向上の機会を作りながら、その能力が発揮できる場面や行動に結びつく場

面を積極的に作っていきたい。また、機構の見直しも新組織になって一年目であり、今年度には総合的に評価、検証を行いたい。今の段階では課新設の考えはないが、官民の立場を超えたところで考える組織のあり方や体制整備については、検討する部署も念頭において今後の課題として捉えていきたい。

質問

人事は町政の要であり3年、4年での移動は蓄積された知識や能力が生かされず、企業の観点で見ると町民にとって損失と見る向きもある。また、法律の新設や制度の見直し等で報告や事務量が多くなってきたおり、業務の効率性や専門性の観点から大きな要件と

なってきたと思うが。

町長答弁

行政は法律や条令に基づいて執行運営されていますので、人事では職員の理解力や判断能力、適応能力など総合的な見地で適性な配置に努めております。昨今のめまぐるしい法律改正の動きは現場の職員に大変な重圧を与えており介護保険法、健康保険法や税に関する法律は最たるものですが、特異性や専門性のみを求めているわけで無く、部署全体で対応することがレベル全体の底上げに繋がるものと考えており、職員会議を行う中で連携を図り、事務に停滞が無いよう取り組んでいきたい。

質問

職員の政策能力と町民との課題町政能力形成の観点から町内担当制度の導入は必要であり、また先の接遇アンケートの結果を踏まえ、住民が望む行政のあり方と

の意識のズレはないか。

町長答弁

町内担当制度の導入の考えは変わらないが、時期については政策形成実践研修を新たな課題として取り組み、発表会が開かれるなど成果が見えつつある段階にあり理解をいただきたい。職員には地域の行事等に積極的に参加するよう呼びかけていきたい。

アンケートの結果は総合評価で改善されているようですが、意見には真実があるという真摯な態度で受け止め、更なる改善の礎にしていきたい。そして世は分権時代であり一方的なお役所仕事とお別れし、一日でも早く町民と意思を一つにして自主的で、かつ費用対効果を踏まえた行政運営を目指していきたい。

